

第3次熊本市歯科保健基本計画
令和5年度の進捗について

基本方針に基づいて施策を推進

- 1 各ライフステージにおける対策の推進
- 2 歯と口腔の健康づくりを支え・守るための環境づくり

「各ライフステージにおける対策の推進」について

胎児期及び妊娠期、乳幼児期

指標 1 ～8

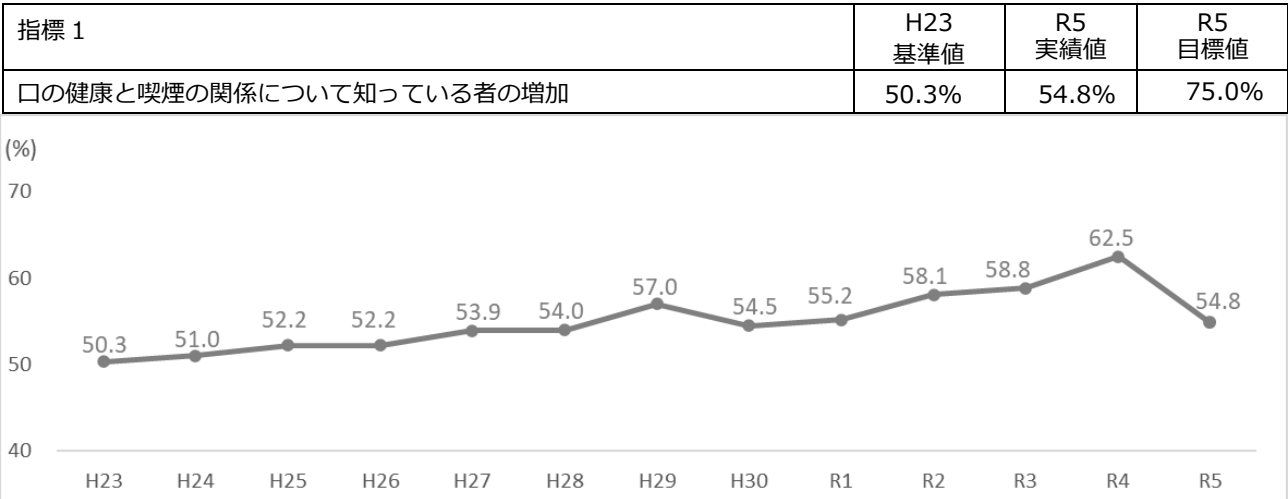
【目標】

胎児期及び妊娠期：口腔の健康を通して、健やかな妊娠生活を支援する

乳幼児期：乳幼児の歯と口腔の健やかな発達と楽しい育児を支援する

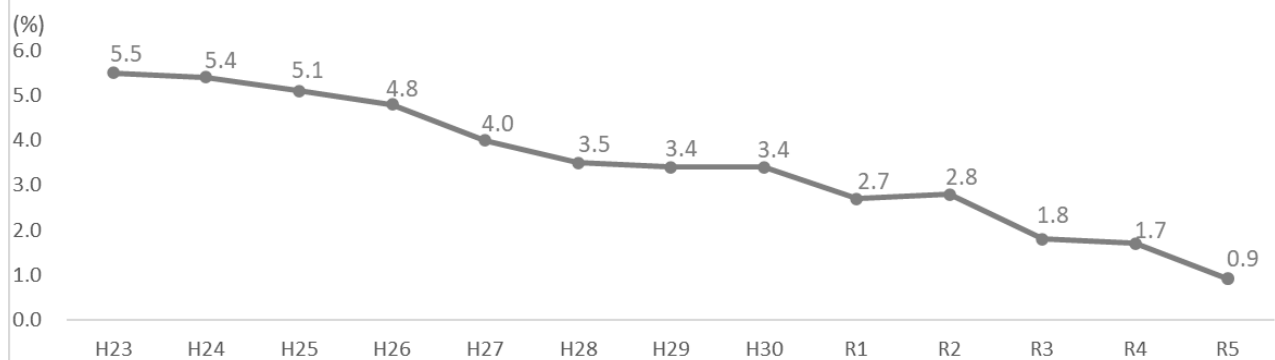
【現状と課題】

- (1) 指標 1「口の健康と喫煙の関係について知っている者」は年々増加傾向にあったが、令和5年度は減少に転じた。指標 2「妊娠中の喫煙」については順調に減少している。指標 3「妊娠中に歯科健診・指導を受ける者」はかかりつけ歯科医の定着を推進するために令和5年度から妊婦歯科健診の実施体制を変更したことにより下がった。今後もあらゆる場で啓発を強化していく必要がある。
- (2) 指標 4「1歳6か月児でのむし歯のない者」、指標 5「3歳児でのむし歯のない者」は増加傾向にある。
- (3) 指標 6「3歳児での不正咬合等が認められる者」は依然として多い。
- (4) 指標 7「3歳までに2回以上フッ化物塗布を受けたことがある者の増加」は令和5年度増加した。
- (5) 指標 8「フッ化物洗口を実施する認可保育園・幼稚園」は令和5年度に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され実施率が56.6%に上がった。



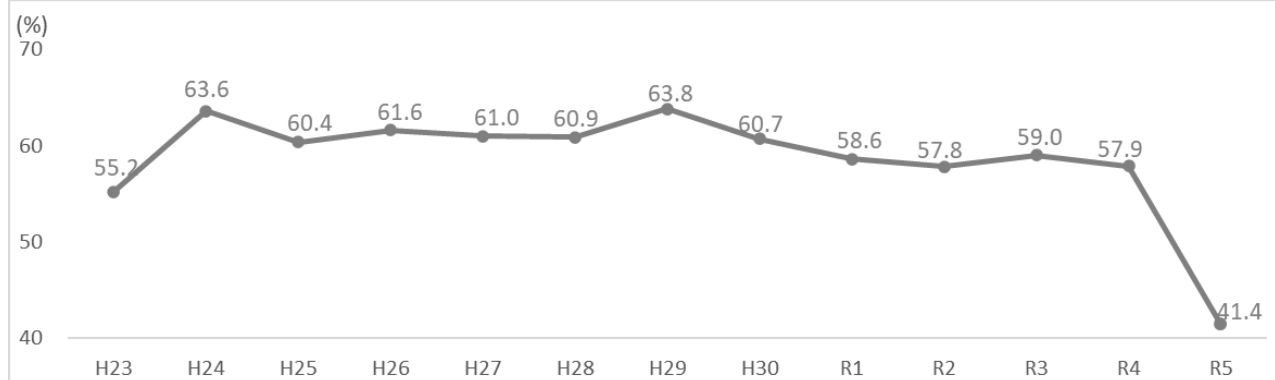
出典：【熊本市】妊婦歯科健診結果

指標 2	H23 基準値	R5 実績値	R5 目標値
妊娠中の喫煙をなくす	5.5%	0.9%	0.0%



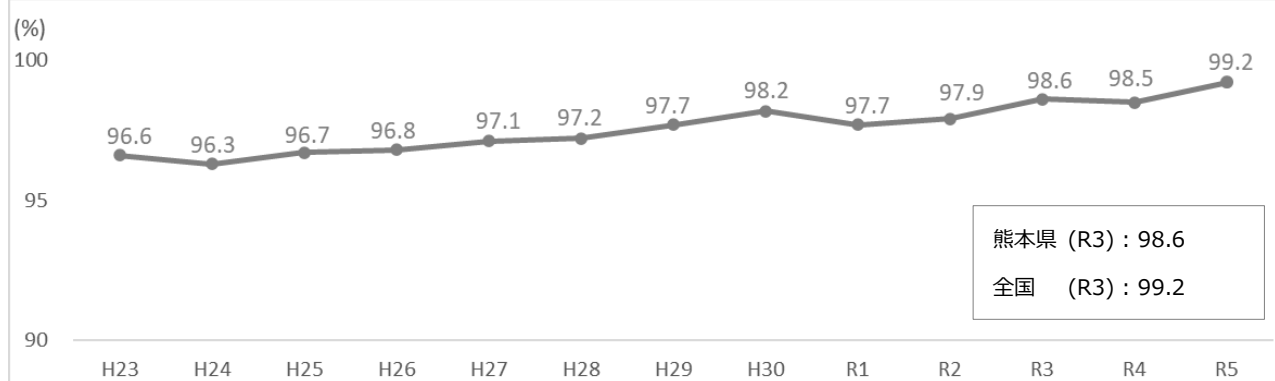
出典：【熊本市】親子（母子）健康手帳交付時の問診項目（健康くまもと 21 の指標データ）

指標 3	H23 基準値	R5 実績値	R5 目標値
妊娠中に歯科健診・指導を受ける者の増加	55.2%	41.4%	75.0%



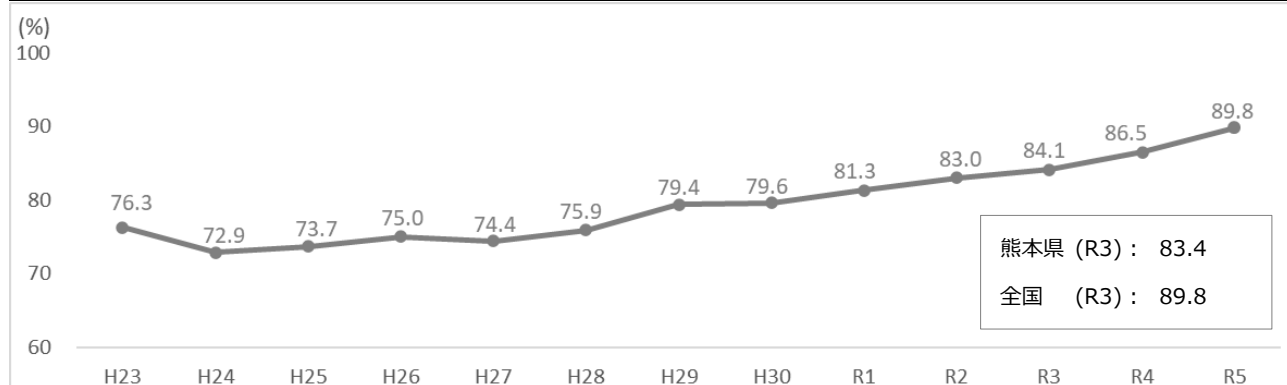
出典：【熊本市】妊婦歯科健診結果

指標 4	H23 基準値	R5 実績値	R5 目標値
1 歳 6 か月児でのむし歯のない者の増加	96.6%	99.2%	100.0%



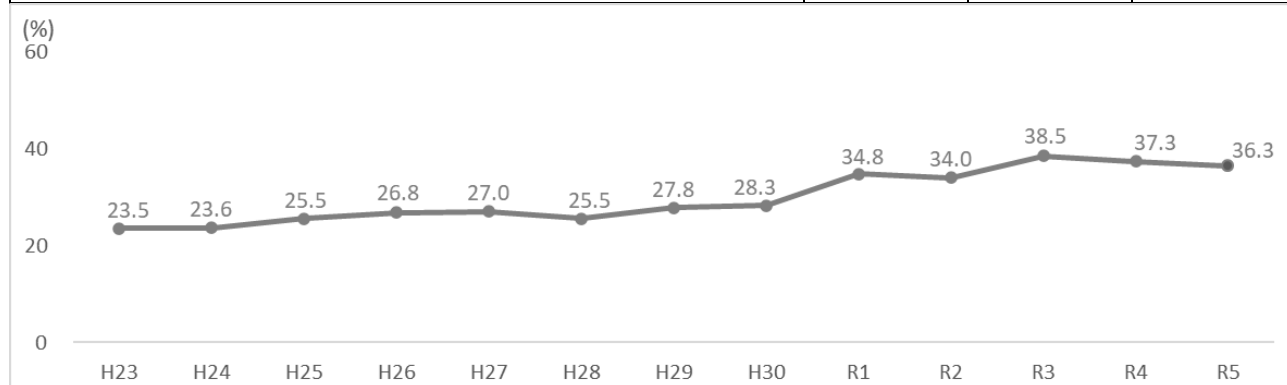
出典：【熊本市】1 歳 6 か月児歯科健診結果 【全国・熊本県】熊本県歯科保健状況調査

指標 5	H23 基準値	R5 実績値	R5 目標値
3歳児でのむし歯のない者の増加	76.3%	89.8%	90.0%



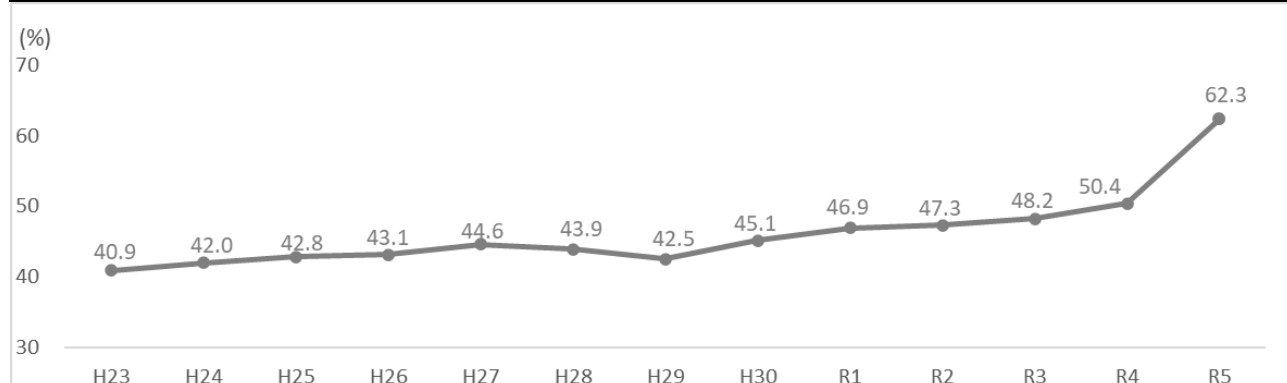
出典：【熊本市】3歳児歯科健診結果 【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

指標 6	H23 基準値	R5 実績値	R5 目標値
3歳児での不正咬合等が認められる者の減少	23.5%	36.3%	10.0%



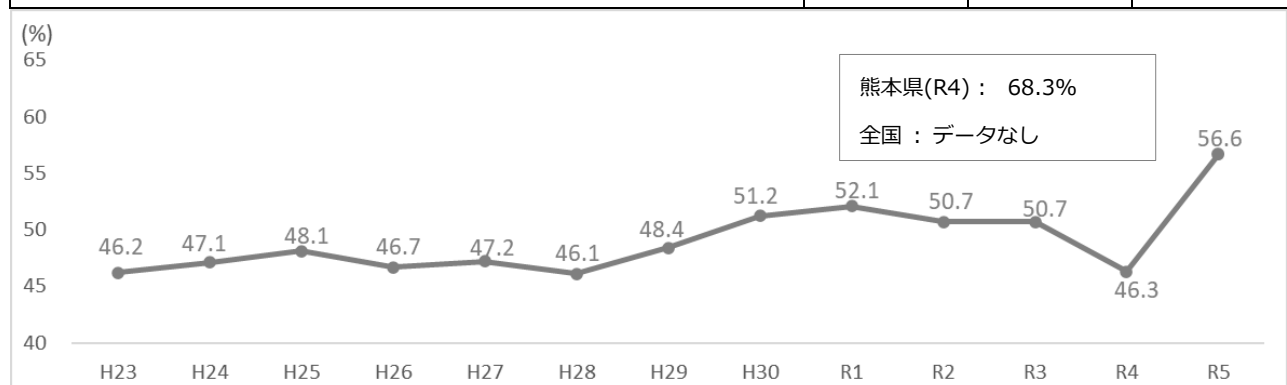
出典：【熊本市】3歳児歯科健診結果 【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

指標 7	H23 基準値	R5 実績値	R5 目標値
3歳までに2回以上フッ化物塗布を受けたことがある者の増加	40.9%	62.3%	70.0%



出典：【熊本市】3歳児歯科健診結果

指標 8	H23 基準値	R5 実績値	R5 目標値
フッ化物洗口を実施する認可保育園・幼稚園の増加	46.2%	56.6%	60.0%



出典：【熊本市】フッ化物洗口支援事業【熊本県】熊本県歯科保健状況調査

【令和 5 年度の進捗】

《 行政 》

※R 5 年度の組織名は当時の名称で記載しています

	主な取組	令和 5 年度 内容	実績	担当課
1	妊産婦健康相談	母子健康手帳交付時に、歯科健康相談を実施 (妊娠届出時または妊婦転入時に妊婦本人と面談し、 歯周病による早産・低体重児出産のリスクが高まるこ とを伝えながら、妊娠期の歯科健診の受診勧奨を実施)	実施回数：571 回 相談者数：2,360 人 受診券交付数：5,737 件	各区保健こども課 こども支援課
2	妊婦歯科健診・相談事業（委託）	・母子健康手帳交付時に妊婦に対して、受診券を発行し、 歯科医療機関で歯科健診・歯科健康相談を実施 ・県下全域の産婦人科医療機関等から啓発リーフレットを妊婦に渡し、歯科受診の勧めを実施	受診者数：2,252 人	健康づくり推進課 各区保健こども課
3	歯科健康相談（妊産婦）	妊産婦に対して歯科健康相談を実施	実施回数：12 回 相談者数：23 人	各区保健こども課
4	1 歳 6 か月児 歯科健診・フッ化物塗布	・1 歳 6 か月児健康診査において歯科健診・歯科健康相談を実施 ・希望者にはフッ化物塗布を実施	【歯科健診】 実施回数：234 回 対象者数：5,892 人 受診者数：5,780 人 【フッ化物塗布】 実施者数：5,197 人 塗布率：88.2%	各区保健こども課 こども支援課 健康づくり推進課
5	1 歳 6 か月児 歯科健診 事後フォロー	1 歳 6 か月児健診時に初期むし歯があった児(保護者)に対し、受診 3 か月～6 か月後に電話等によるフォローを実施	実施者数：93 人	各区保健こども課
6	3 歳児歯科健診・フッ化物塗布	・3 歳児健康診査において歯科健診・歯科健康相談を実施 ・希望者にはフッ化物塗布を実施	【歯科健診】 実施回数：202 回 対象者数：5,993 人 受診者数：5,852 人 【フッ化物塗布】 実施者数：4,485 人 塗布率：74.8%	各区保健こども課 こども支援課 健康づくり推進課
7	こどものフッ化物塗布事業（委託）	8 か月児に歯の健康手帳（フッ化物塗布券付き）を発行し、1 歳児・2 歳児・2 歳 6 か月児に歯科医療機関でフッ化物塗布を実施する。 ※令和 5 年 11 月開始	受診者数：1,627 人	健康づくり推進課
8	歯科健康教育（乳幼児）	子育てサークル等においてむし歯予防講話等を実施	実施回数：102 回 参加組数：802 組	各区保健こども課

9	歯科健康相談 (乳幼児)	区役所（育児相談）や子育てサークル等において歯科健康相談を実施 ※R5年度から育児相談復活	実施回数：236 回 相談者数：780 人	各区保健こども課
10	フッ化物洗口 支援事業	フッ化物洗口の実施を希望する保育所等に対して、洗口剤等を配布するとともに、円滑な実施に係る技術支援を実施。	実施施設数：135 施設 (うち新規実施 10 施設) ※認可外施設含む	各区保健こども課 健康づくり推進課 保育幼稚園課 健康教育課
11	フッ化物洗口 支援事業説明会	本市のこどものむし歯有病状況及びフッ化物洗口の予防効果や安全性等について説明する。	【職員向け】 実施施設数：29 施設 参加者数：96 人 【保護者向け】 実施施設数：16 施設 参加者数：659 人	各区保健こども課
12	保育所等における 歯科健康教育	保育所等において、幼児、保護者等を対象に、歯科講話、歯磨き指導等を実施	実施施設数：101 施設 実施回数：126 回 参加者数：5,458 人	各区保健こども課
13	歯みがき教室等の 意向調査	管内の保育所等において、歯みがき教室やフッ化物洗口実施の意向を調査し、むし歯予防事業に対する理解促進を図る。 未回答の園や歯みがき教室を希望しない園については、改めて電話等で事業を説明	実施施設数：137 施設	各区保健こども課
14	出前講座	【出前講座の実施】 「食べない時の口から支援～幼児ベロタッチ健康法～」 実施団体：口からの健康づくり歯っぴーかむカム	24 回	生涯学習課
15	乳幼児ママ・パパ 教室	育児サークル等において、歯科医師等を招いて教室を実施	実施回数：2 回 参加人数：25 組	こども支援課
16	保育所等における 歯科健康診断	保育所・幼稚園等において、園歯科医師による定期歯科健康診断を年 1 回実施	実施施設数：214 施設	保育幼稚園課 健康教育課
17	結婚・子育て応援 サイト	歯と口腔の健康づくりに関する情報提供を実施	実施	こども政策課

《 関係団体・機関 》

	令和5年度 内容	実績	団体
1	【妊婦歯科健診】 妊婦に対して歯科健診と口腔保健指導を実施	受診者数：2,252 人	熊本市 歯科医師会
2	【こどものフッ化物塗布事業】 1 歳、2 歳、2 歳 6 か月の幼児にフッ化物を塗布	受診者数：1,627 人	
3	【歯っぴー39 チャレンジリーフレットの配布】 7 か月児健診時に配布し啓発を実施	実施	熊本市医師会

4	【市町村歯科衛生士研修会の開催】 県受託授業「市町村歯科衛生士研修会」を歯科衛生士や保育士、保健師、栄養士など対象として開催。 ①日時 令和6年2月18日(日) 「データから見る近年注目される歯科疾患の重要性」 講師 東京医科歯科大学教授 相田 潤氏 「熊本県における幼児期の歯科保健について」 熊本県健康づくり推進課 井上秀代氏 「熊本市の歯科保健事業について」 熊本市口腔保健支援センター 山川 摩利子氏 ②日時 令和6年3月3日(日) 演題 「乳幼児期の口腔機能の発達と支援について」 講師 雲南市健康福祉部医療介護連携室歯科保健指導専門員 安部 美智野氏 「乳幼児検診における歯科指導の取り組みについて」 熊本県歯科衛生士会有明支部 中尾 敦子氏 会場 オンライン開催 (Zoom)	①延べ74人 ②延べ72人	熊本県歯科衛生士会
5	【子ども文化会館「歯の健康講座」】 幼児と保護者を対象に「子どもの健やかな成長のために」の講話と歯磨き指導を実施。 日時 令和5年5月18日(木) 会場 熊本市子ども文化会館	乳幼児と保護者4組	熊本県歯科衛生士会
6	【5ブロック保育士会給食部会合同研修会】 日時 7月28日 場所 くまもと県民交流館パレア パレアホール 演題「美味しく食べて、栄養になるには!!～乳児からの運動発達と口の発達を考える～」 講師 株式会社 ゆう地域支援事業団 代表取締役/保健師 町村 純子 氏	参加者:105人	熊本市保育園連盟
7	【フッ化物洗口紹介・推奨】 幼稚園・認定こども園の数園でフッ化物洗口を実施、その方法と成果を設置者・園長会で紹介。フッ化物洗口への取り組みを勧めた。	数園の実施に留まる	熊本市私立幼稚園・認定こども園協会
8	【おやこの食育教室】 川尻校区の親子を対象に、テキストを用いて、「朝食と共食の大切さ」に重点をおいて食の大切さを伝えた。	R5.11.26 年長から小学2年生の 親子22組参加	熊本市食生活改善推進員協議会
9	【こどもの食育推進ネットワーク】 乳幼児期の家庭へ、はやね・はやおき・あさごはんカードを用いての生活リズムの重要性や、研修会等に参加し、乳幼児期の食育の重要性を学んだ。	5区役所及び全市で実施	
10	【子どもの健康・食生活の支援活動】※学童期含む 子育て世代の地域住民へ、手作りおやつレシピ(3種)を配付し、作り方、幼児にとってのおやつ目的、おやつ適切な量や食べ方をお話した。またこどもの頃からの食育の重要性についても、お話した。	855回 5,841人 (活動集計:子どもの健康・食生活)	
11	【むし歯予防】 ・子育てサークルや保育所などにおいて、むし歯予防に関する歯科啓発を実施 ・子ども文化会館での保護者と子どもへのむし歯予防に関する歯科啓発を実施 ・市保育園連盟主催わんぱくまつりでの保護者と子どもへのむし歯予防に関する歯科啓発を実施	42回 1,301人 1回 75人 1回 104人	熊本市8020健康づくりの会
12	訪問看護の際に、口腔内ケアを実施し必要に応じて訪問歯科診療等につなげる	—	熊本県看護協会

学童期、中・高生期 指標 9～12

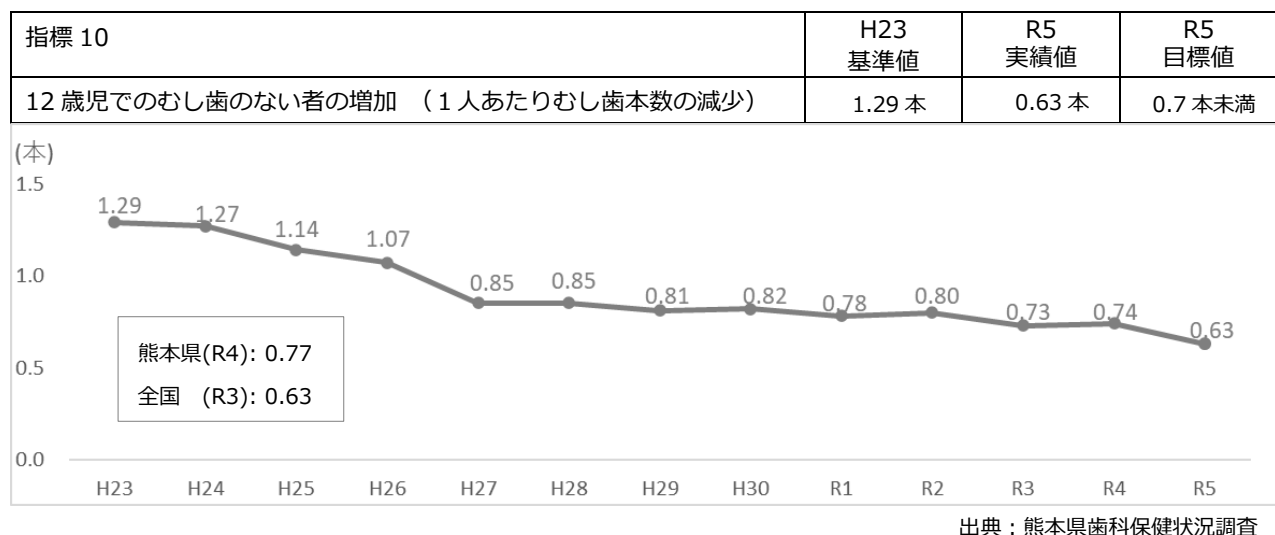
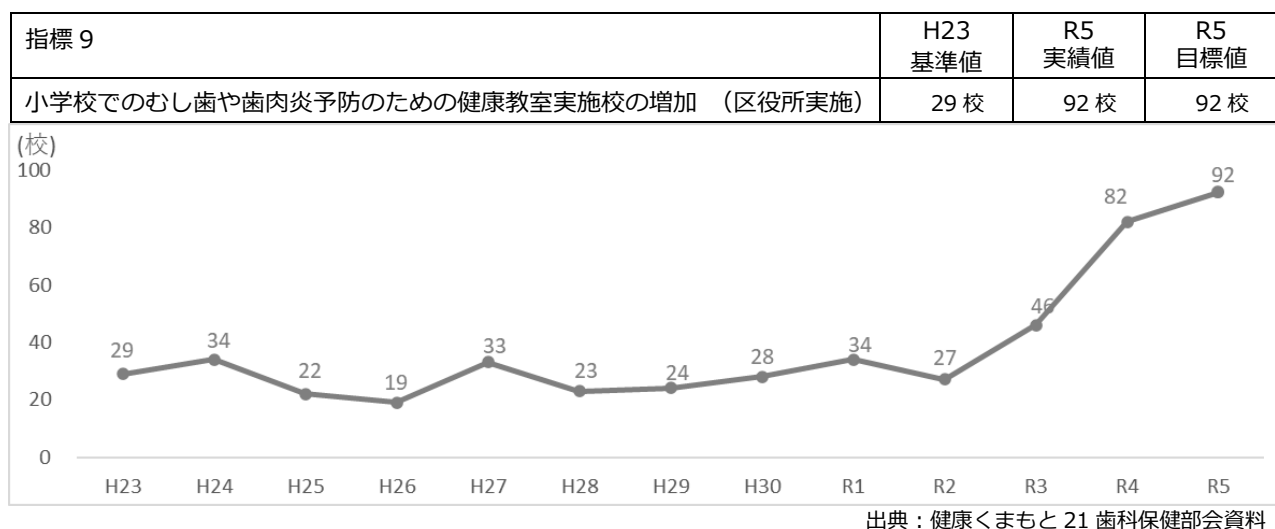
【目標】

学 童 期：乳歯と永久歯の生え変わりが始まる時期であり、自分の口にあった歯みがき習慣を身につけむし歯や歯肉炎のない楽しい学校生活を支援する

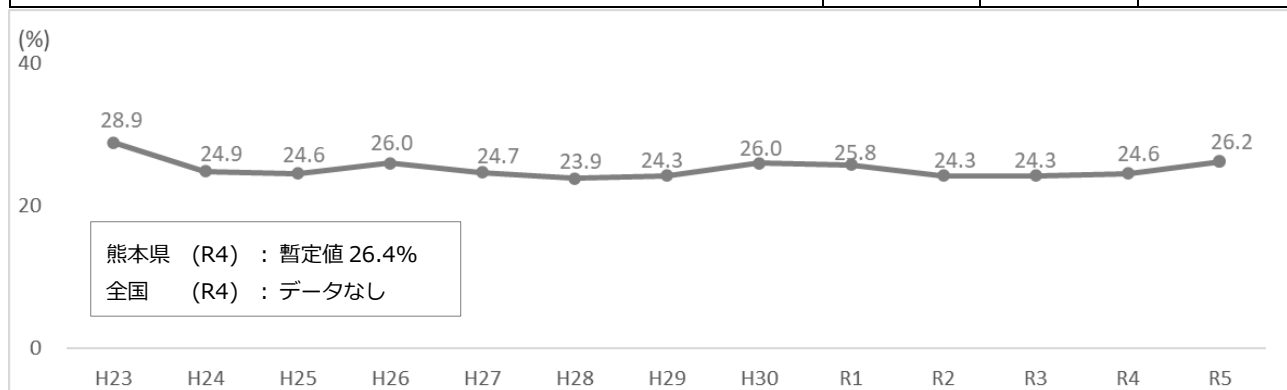
中・高生期：生活習慣の改善によりむし歯や歯肉炎を減少させることができる中高生が増加するよう支援する

【現状と課題】

- (1) 指標 9「小学校でのむし歯や歯肉炎予防のための健康教室実施校の増加」については、小学校におけるフッ化物洗口の開始に伴い1～2年生を中心に歯科健康教室（初回の指導、うがい練習、歯みがきの必要性等）を実施した。小学校におけるフッ化物洗口は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行された令和5年度（2023年度）に、全92校の小学校において洗口実施となった（1～2年生）ため92校実施となった。指標10「12歳児でのむし歯のない者（1人あたりむし歯本数）」の増加については、ゆるやかに減少している。
- (2) 指標11「中学生における歯肉に炎症所見を有する者」はやや増加傾向にあるが、指標12「高校生における歯肉に炎症所見を有する者」は大きく減少した。

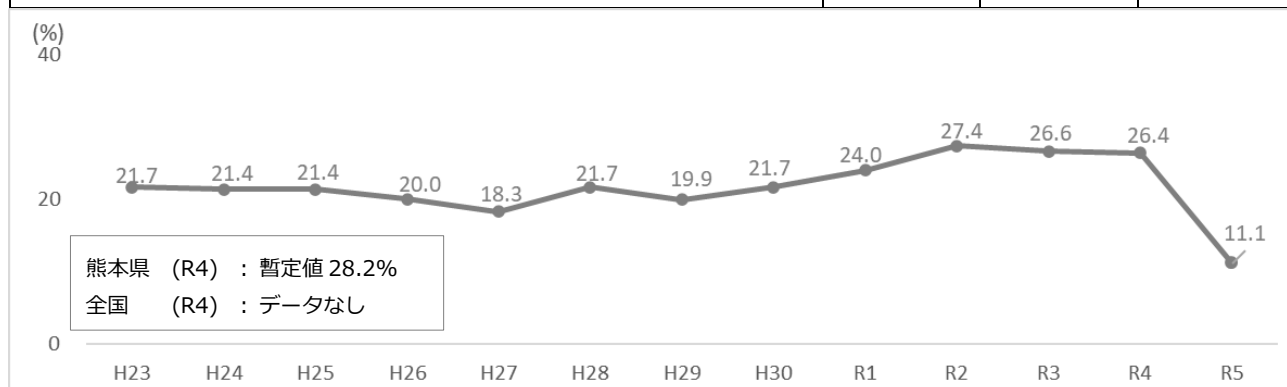


指標 11	H23 基準値	R5 実績値	R5 目標値
中学生における歯肉に炎症所見を有する者の減少	28.9%	26.2%	20.0%



出典：熊本県歯科保健状況調査

指標 12	H23 基準値	R5 実績値	R5 目標値
高校生における歯肉に炎症所見を有する者の減少	21.7%	11.1%	20.0%



出典：熊本県歯科保健状況調査

【令和5年度の進捗】

《 行政 》

※R5年度の組織名は当時の名称で記載しています

	主な取組	令和5年度 内容	実績	担当課
1	歯科健康教育	小中学生を対象としたむし歯や歯肉炎の予防等の講話や歯みがき指導を実施 小学校 92校 136回 15,991人 中学校 3校 3回 498人	実施校数：95校 実施回数：139回 参加者数：16,489人	各区保健こども課
2	小中学校の学校保健委員会に対する歯科健康教育	小中学校の学校保健委員会において、学校や家庭における歯と口腔の健康づくりに関する取組等の助言等を実施 小学校4校 中学校2校	実施校数：6校	各区保健こども課
3	歯科健康相談	小中学生や保護者に対して歯科健康相談を実施	実施回数：12回 相談者数：100人	各区保健こども課
4	歯科健診	就学時歯科健診及び学校歯科健診を実施	歯科健診実施校数 小学校 92校 中学校 42校 高校 2校 特別支援学校 2校	健康教育課
5	歯みがき巡回指導	【歯みがき巡回指導】 歯科医師・歯科衛生士による正しい歯みがきの定着と歯と口腔の健康づくりを推進するための専門的な指導を実施 主催：熊本市学校保健会・熊本市歯科医師会 協力：熊本市教育委員会・熊本県歯科衛生士会熊本市支部 対象：小学3年生	小学校5校で実施	健康教育課
6	フッ化物洗口事業（小学校）	むし歯予防のため、小学校で週1回法によるフッ化物洗口を実施	実施校数：92校 （1～2年生）	健康づくり推進課 健康教育課 各区保健こども課
		フッ化物洗口説明会の開催	教職員8校 保護者21校	
7	結婚・子育て応援サイト	歯と口腔の健康づくりに関する情報提供を実施	実施	こども政策課

《 関係団体・機関 》

	令和5年度 内容	実績	団体
1	【学校健診、学校保健会】 学校健診および学校保健会を通して児童生徒に口腔保健について啓発	実施	熊本市歯科医師会
2	【歯磨き巡回指導】 「小学校歯磨き巡回指導」で、小学校児童を対象にむし歯予防の講話、指導を実施。	実施校5校 児童 延べ242人	熊本市歯科医師会 熊本県歯科衛生士会 熊本市小学校校長会
3	【薬物の歯に対する影響】 学校薬剤師が担当校において、薬物乱用防止教育を担当し、薬物の歯に対する影響を説明している。	熊本市の小・中・高	熊本市薬剤師会
4	訪問看護の際に、口腔内ケアを実施し必要に応じて訪問歯科診療等につなげる	—	熊本県看護協会

5	【フッ化物洗口事業】(健康づくり推進課) 小学校1・2年生を対象に、各区の保健こども課と学校が協力して実施。(一部全学年実施)	実施校 92校 実施率 100%	熊本市小学校 校長会
6	【PTA 役員への啓発活動】 各区の定例会時に熊本市担当課の方を招いて、子どもの歯の健康に関するチラシを配布していただくとともに、フッ素塗布・フッ化物洗口の効果・効能を解説していただいた。	—	熊本市 PTA 協 議会
7	【PTA 役員から保護者への情報提供】 上記内容を各単 P にて発信し、学校の取り組みと連携して、子どもの歯の健康に対する保護者の意識醸成・向上を図った。	—	
8	【全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト(第3弾)「若者世代」】 中央高校生徒を対象に、食事バランスプレートを使用し、汁物の食塩濃度の測定法等を伝授し、減塩の必要性の啓発し、ヘルスサポーターの育成を通じた普及活動に取り組んだ。	R5.12.14 20人参加	熊本市食生活 改善推進員協 議会
9	【中学校、高校等での郷土料理講習会の開催】 学校からの依頼を受け、郷土料理の講習会を開催した。いきなり団子やだご汁等を生徒と一緒に作り郷土料理の話等を実施。	桜山中学校 2、3 年生 150 人 長嶺中学校 1 年生 30 人 第二高校 1 年生 369 人 千原台高校 168 人 力合中学校 159 人	
10	【歯みがき教室】 ・小学校における歯みがき教室にて、歯科疾患予防の取り組みに関する支援を実施 ・サッカー教室における健康教育にて、むし歯予防に関する歯科啓発を実施	14 回 834 人 1 回 22 人	熊本市 8020 健康づくりの 会
11	【フッ化物洗口】 ・小学校におけるフッ化物洗口の取り組みに協力し、学童期におけるむし歯予防の推進を図る	1,136 回	

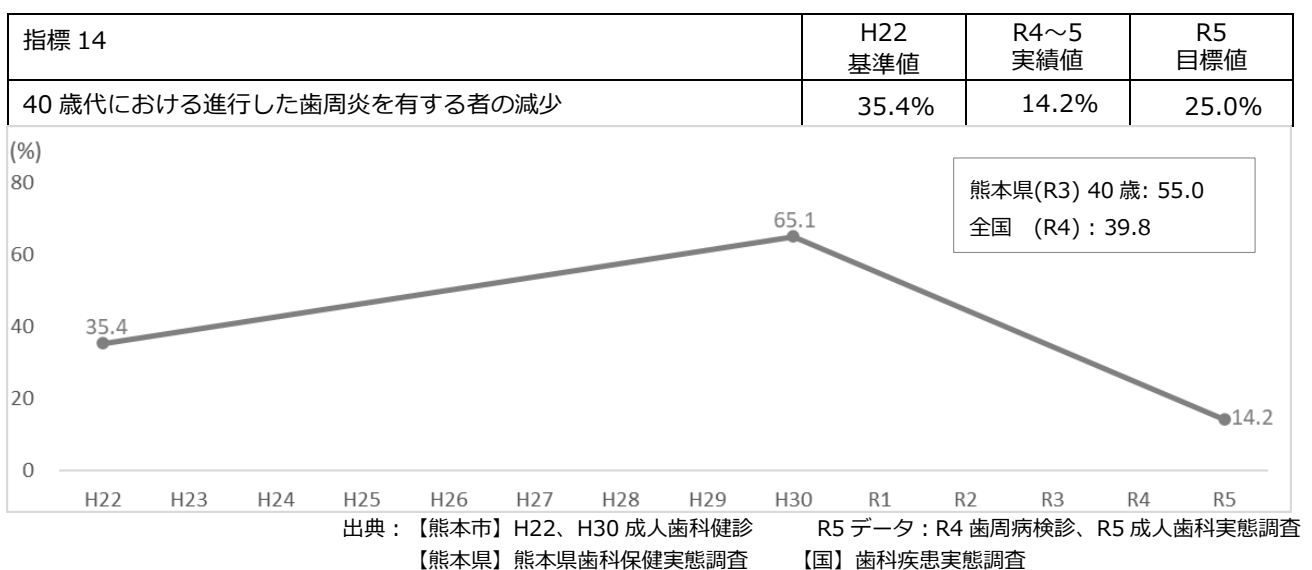
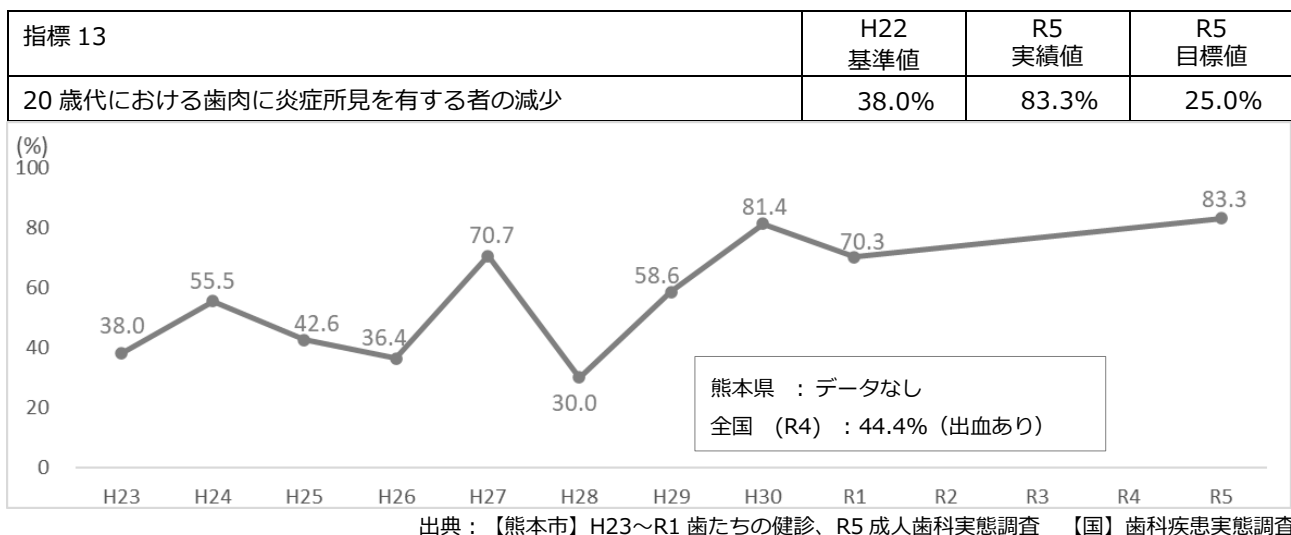
成人期 指標 13～22

【目標】

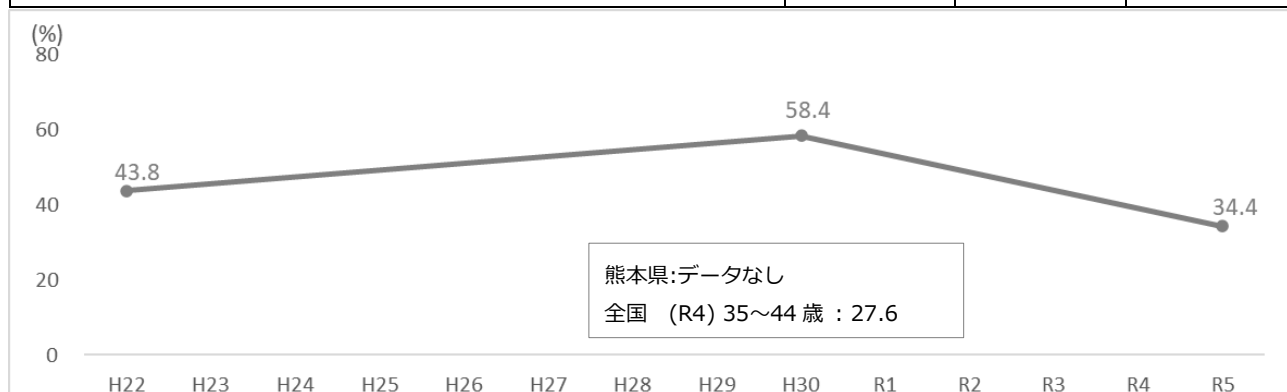
社会生活を送る上で、歯と口腔の健康づくりが重要であることを知り、自分に合った口腔ケアを獲得できるように支援する。

【現状と課題】

- 指標 13「20 歳代における歯肉に炎症所見を有する者」は大きく増加傾向にあるが、指標 14「40 歳代における進行した歯周炎を有する者」と指標 16「40 歳で喪失歯のない者」、指標 17「60 歳代における進行した歯周炎を有する者」、指標 19「60 歳で 24 歯以上の自分の歯を有する者」、指標 20「60 歳代における咀嚼良好者」は目標を達成した。指標 15「40 歳の未処置歯を有する者」、指標 18「60 歳の未処置歯を有する者」は減少傾向にあるものの目標は達成していない。また、節目年齢歯科健診の受診率は、全対象者に個別勧奨通知を発送したため増加した。
- 指標 21「定期検診を受ける者」、指標 22「口の健康と喫煙の関係について知っている者」は、ほぼ目標に近づいているが、今後も関係団体や企業等との連携による歯と口腔の健康づくりに関する環境整備や、健康意識の醸成に取り組む必要がある。

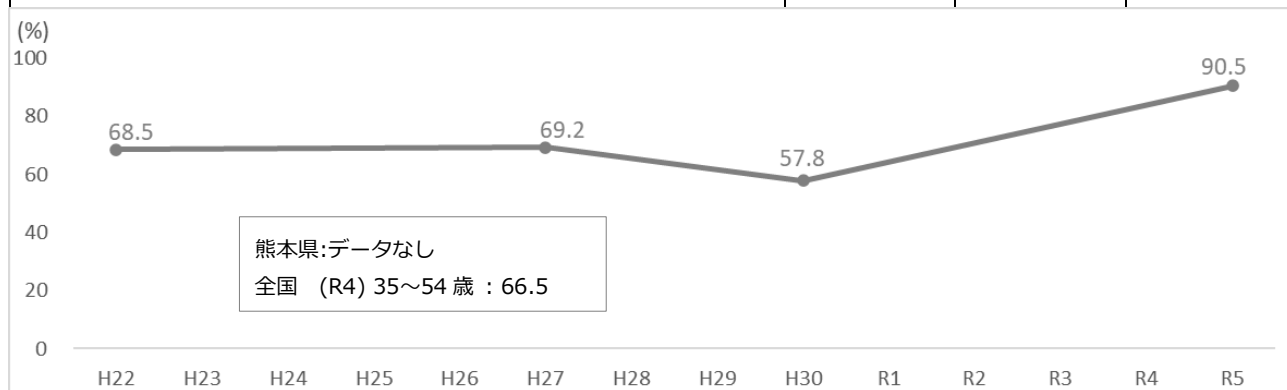


指標 15	H22 基準値	R4～5 実績値	R5 目標値
40 歳の未処置歯を有する者の減少	43.8%	34.4%	10.0%



出典：【熊本市】H22、H30 成人歯科健診 R5 データ：R4 歯周病検診、R5 成人歯科実態調査 【国】歯科疾患実態調査

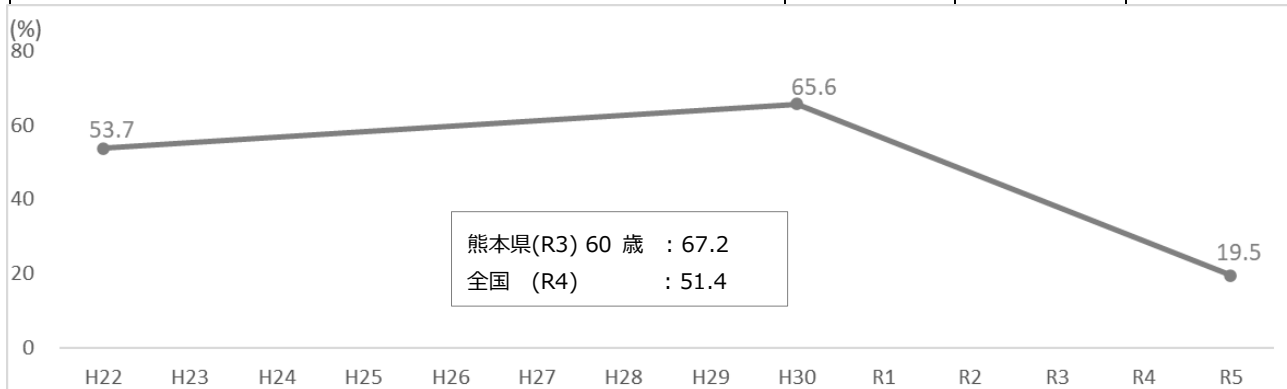
指標 16	H22 基準値	R4～5 実績値	R5 目標値
40 歳で喪失歯のない者の増加	68.5%	90.5%	75.0%



出典：【熊本市】H22 成人歯科健診 H27、H30 健康くまもと 21 市民アンケート

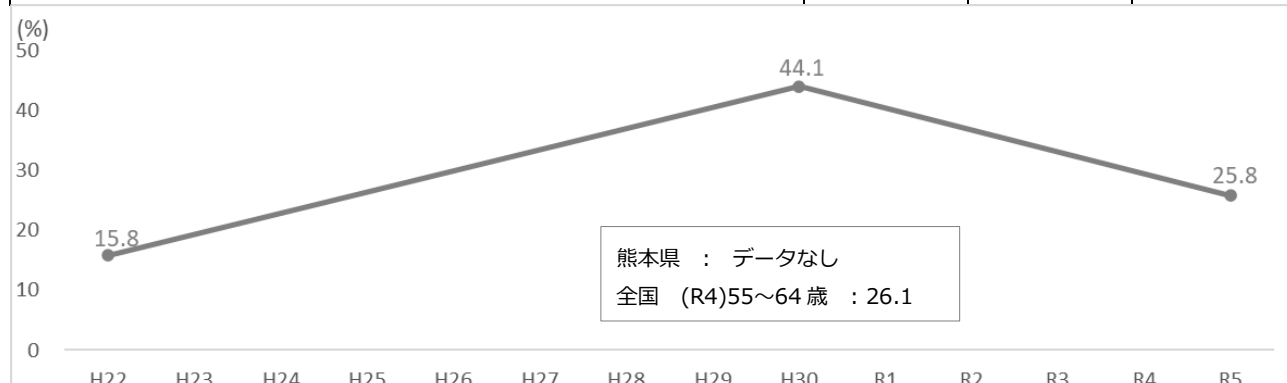
R5 データ：R4 歯周病検診、R5 成人歯科実態調査 【国】歯科疾患実態調査

指標 17	H22 基準値	R4～5 実績値	R5 目標値
60 歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	53.7%	19.5%	45.0%



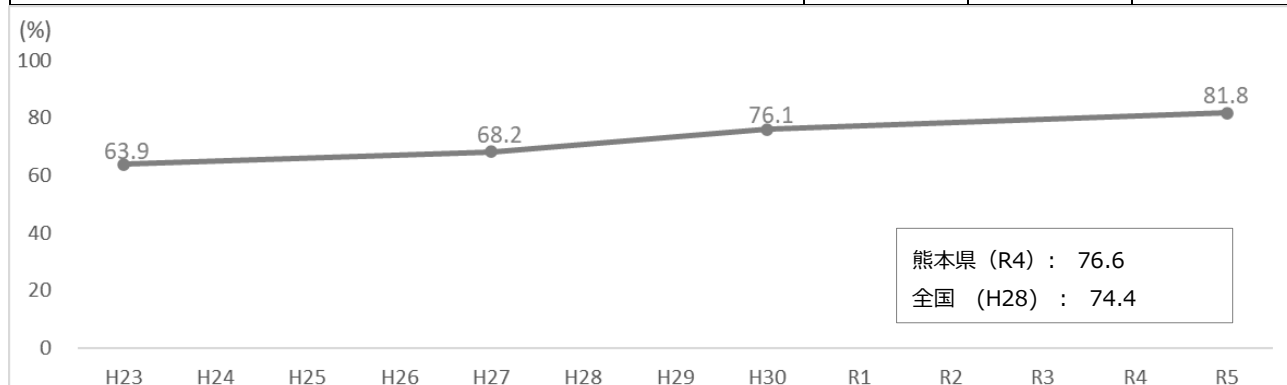
出典：【熊本市】H22、H30 成人歯科健診 R5 データ：R4 歯周病検診、R5 成人歯科実態調査、R4 後期高齢者歯科口腔健診（65～69 歳）【熊本県】熊本県歯科保健実態調査 【国】歯科疾患実態調査

指標 18	H22 基準値	R4～5 実績値	R5 目標値
60 歳の未処置歯を有する者の減少	15.8%	25.8%	10.0%



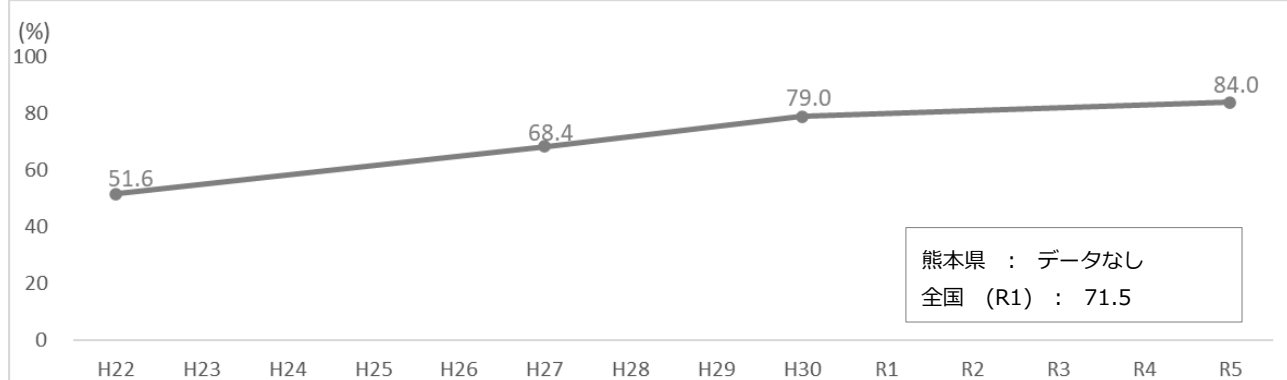
出典：【熊本市】H22、H30 成人歯科健診
R5 データ：R4 歯周病検診、R5 成人歯科実態調査

指標 19	H23 基準値	R5 実績値	R5 目標値
60 歳で 24 歯以上の自分の歯を有する者の増加	63.9%	81.8%	80.0%



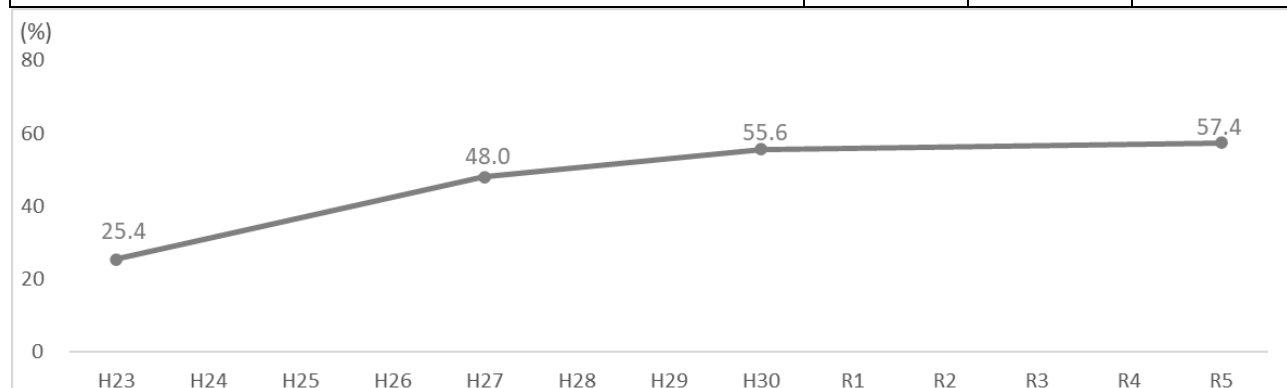
出典：【熊本市】H23～H30 健康くまもと 21 市民アンケート
R5 データ：R4 歯周病検診、R5 成人歯科実態調査、R5 健康くまもと 21 市民アンケート
【熊本県】熊本県健康づくりに関する県民意識調査 【国】歯科疾患実態調査

指標 20	H22 基準値	R4～5 実績値	R5 目標値
60 歳代における咀嚼良好者の増加	51.6%	84.0%	80.0%



出典：【熊本市】H22 成人歯科健診 H27、H30 健康くまもと 21 市民アンケート
R5 データ：R4 歯周病検診、R5 成人歯科実態調査、R5 健康くまもと 21 市民アンケート、R4 後期高齢者歯科口腔健診（65～69 歳）
【国】国民健康・栄養調査

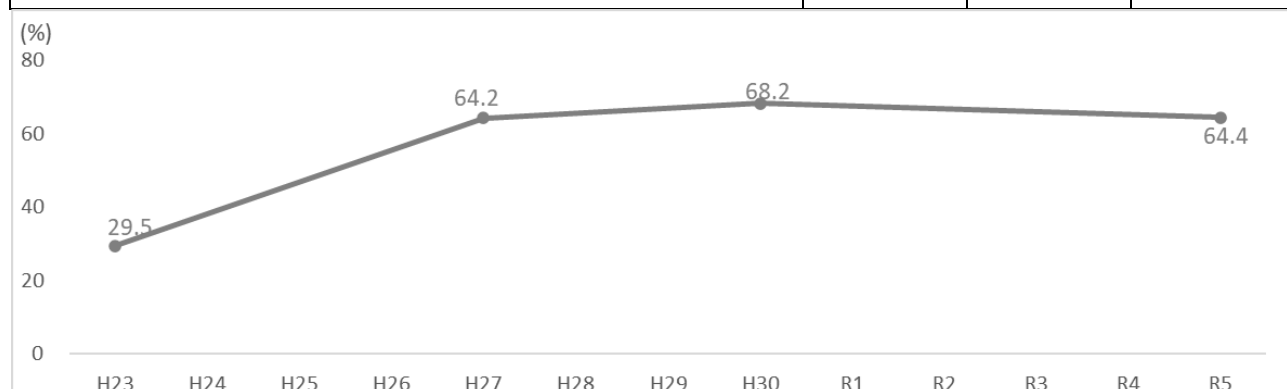
指標 21	H23 基準値	R4～5 実績値	R5 目標値
定期検診を受ける者の増加	25.4%	57.4%	65.0%



出典：【熊本市】H22～H30 健康くまもと 21 市民アンケート

R5 データ：R4 歯周病検診、R5 成人歯科実態調査、R5 健康くまもと 21 市民アンケート、R4 後期高齢者歯科口腔健診

指標 22	H23 基準値	R5 実績値	R5 目標値
口の健康と喫煙の関係について知っている者の増加	29.5%	64.4%	70.0%



出典：健康くまもと 21 市民アンケート

【令和 5 年度の進捗】

《 行政 》

※R5 年度の組織名は当時の名称で記載しています

	主な取組	令和 5 年度 内容	実績	担当課
1	歯たちの健診	生活習慣が不規則になる時期でもある大学生等を対象に、歯科疾患の予防と口腔衛生意識の向上を目指し、学園祭や区役所実習の学生に対して歯科健診や歯科健康相談を実施	学園祭：7 人 区役所：91 人	各区保健こども課
2	節目年齢歯科健診（旧：歯周病検診）	歯の喪失をもたらす歯周病を予防し、かかりつけ歯科医における定期的な歯科健診を推進するため、節目年齢歯科健診を実施 ※令和 5 年度から節目年齢歯科健診に名称変更 ※令和 5 年度から対象者全員に個別勧奨通知を実施 受診者数：40 歳 635 人、50 歳 677 人、60 歳 740 人、70 歳 716 人	受診者数：2,768 人 (受診率 7.29%)	健康づくり推進課

3	歯科健康教育	生活習慣病予防教室において、糖尿病等と歯科疾患との関連について歯科健康教育等を実施する。また、歯科健康教室において、歯科疾患の予防等についての講話や口腔ケアの啓発等を実施する。 【生活習慣病予防教室】3回 43人 【歯科健康教室】49回 603人	実施回数：52回 参加者数：646人	各区保健こども課
4	歯科健康相談	成人期を対象とした歯科健康相談を実施	実施回数：49回 相談者数：254人	
5	健康ポイント事業	スマートフォン専用アプリ「もっと健康！げんき！アップくまもと」において、歯科健診時に健康ポイントを付与することにより、定期的な歯科健診を推進 対象：定期歯科健診、節目年齢歯科健診、後期高齢者歯科口腔健診 内容：40ポイント/回（年3回まで付与）	ポイント獲得延 4,807人	健康づくり推進課

◆節目年齢歯科健診の実施状況（事業開始：令和元年10月） ※旧：歯周病検診

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
対象年齢	40歳、60歳	40歳（41歳）、 60歳（61歳）※	40歳（41歳）、 60歳（61歳）※	40歳、50歳、 60歳、70歳	40歳、50歳、 60歳、70歳
受診実績・受診率	5人 (0.03%)	47人 (0.12%)	60人 (0.16%)	505人 (1.33%)	2,768人 (7.29%)
検査結果 （要精密者率）	3人 (60.0%)	24人 (51.1%)	47人 (78.3%)	363人 (71.9%)	2,074人 (74.9%)

※令和2・3年度は、新型コロナ経過措置で前年対象者（41歳・61歳）も対象。

《 関係団体・機関 》

	令和5年度 内容	実績	団体
1	節目年齢歯科健診の実施	2,768人	熊本市歯科医師会
2	【医療安全週間講演会】 看護職員・一般県民を対象に摂食・障害看護認定看護師及び歯科衛生士による講話 「お口のケアから始める肺炎予防」	参加者 50人	熊本県看護協会
3	訪問看護の際に、口腔内ケアを実施し必要に応じて訪問歯科診療等につなげる	—	
4	【生活歯援プログラム事業】 県歯科医師会と連携し、企業の職域対象に「生活歯援プログラム」において、生活習慣病予防を通じた全身の健康づくりに効果的な歯科保健指導を実施	2事業所 延べ47人	全国健康保険協会熊本支部 熊本県歯科衛生士会
5	【熊本県職員歯科健康診断事業】 熊本県職員歯科健康診断事業・事業所歯科健診で、歯科医師による診断結果を、受診者に説明し、定期歯科健診の受診勧奨を行う。	延べ99人	熊本県歯科衛生士会
6	【歯周病予防啓発チラシ作成】 成人期の歯周病予防啓発のためのチラシを作成した	—	
7	【結核・ガン予防キャンペーンに参加】 熊本県総合保健センター主催の「結核・ガン予防キャンペーンヘルシーくまもと」に健康を守る婦人の会で参加。 日時 令和5年9月23日（土） 会場 ゆめタウンサンピアン	地域住民	

8	【副作用について及び歯科受診推奨】 各保険薬局にて、骨粗鬆薬や降圧剤等の歯、歯肉に対する副作用を注意・喚起し、心配される患者様に対して歯科受診を推奨している。	熊本市の保険薬局	熊本市薬剤師会
9	【若者・働き世代の健康・食生活の支援活動】 若者や働き世代の方に対して、若い頃からの生活習慣病予防や食事バランスガイドの普及のための活動を実施した	1,613 回 4,490 人 (活動集計：若者・働き世代の健康・食生活)	熊本市食生活改善推進員協議会
10	【「くまもとのごはん料理教室」郷土料理教室への支援】 熊本市が開催した、大学生や親子等を対象とした郷土料理教室に対して、講師として技術支援を行った。	年間 10 回、185 人参加	
11	【歯たちの健診】 大学の学園祭において、若者への歯と口の健康について及びかかりつけ歯科医への定期的受診を勧める啓発を実施	1 回 50 人	熊本市 8020 健康づくりの会

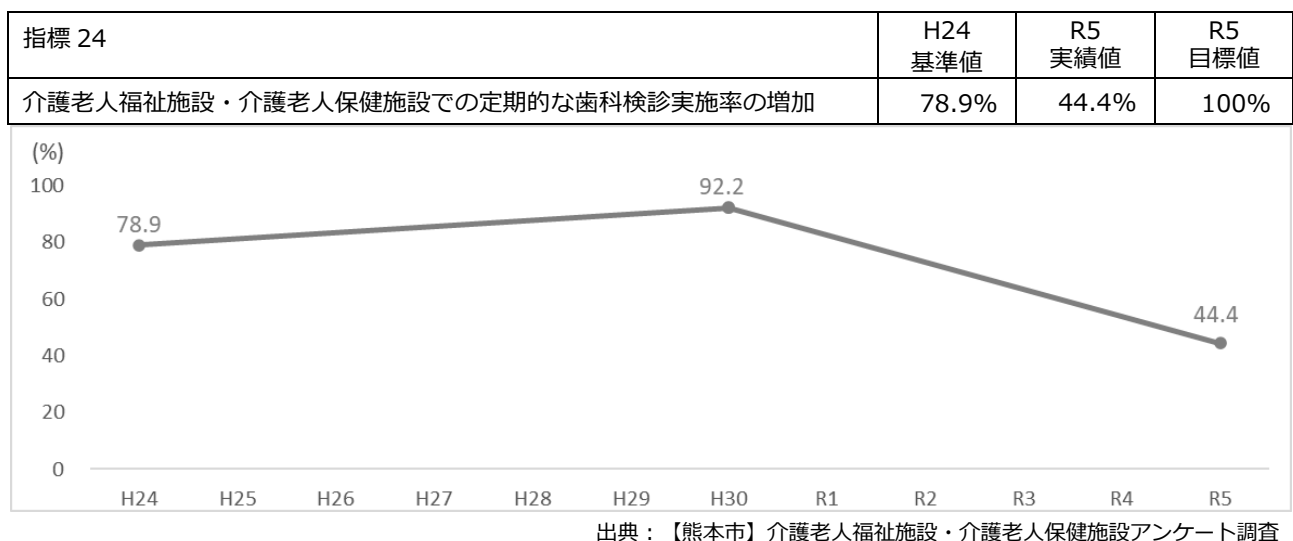
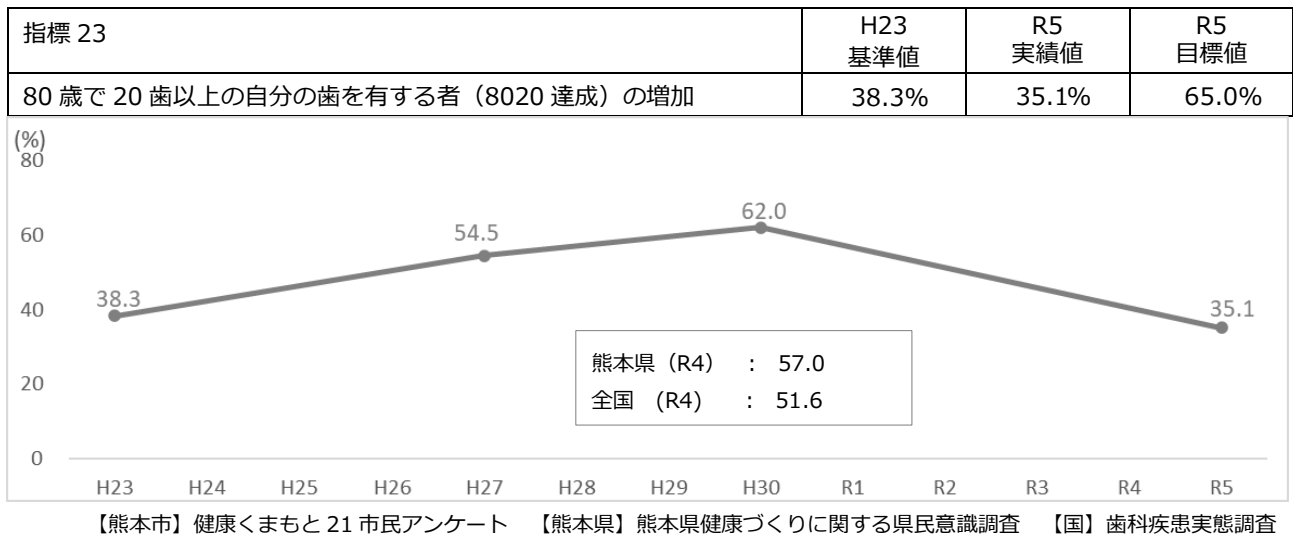
高齢期 指標 23～24

【目標】

歯の喪失等による口腔の機能低下を防止し、「食べること」を通じて積極的に社会活動ができるように支援する。

【現状と課題】

- (1) 後期高齢者の口腔機能低下による誤嚥性肺炎や生活習慣病等の重症化予防を図るため、歯・歯肉の状態、口腔内の衛生状態や咀嚼を含む口腔機能をチェックすることにより、被保険者の健康の保持増進を図ることを目的に後期高齢者歯科口腔健診を実施している。令和5年度の受診率は1.89%（暫定値）と前年度（1.08%）から上がった。
- (2) 指標23「80歳で20歯以上の自分の歯を有する者」が減少傾向にあり、目標達成していない。ただ、市民アンケートでは35.1%だったが、後期高齢者歯科口腔健診の結果では62.2%であった。



【令和5年度の進捗】

《 行政 》

※R5年度の組織名は当時の名称で記載しています

	主な取組	令和5年度 内容	実績	担当課
1	8020表彰	満80歳以上で自分の歯を20本以上有する市民（8020達成者）を表彰するため事前審査を実施。表彰式は開催せず表彰状を送付 ※区役所と市歯科医師会会員の歯科医療機関において事前審査を実施	被表彰者数 84 人	健康づくり推進課 各区保健こども課
2	歯科健康教育	地域において高齢者を対象に、口腔機能向上や口腔ケアの必要性に関する歯科健康教育を実施	実施回数：55 回 参加者数：1,097 人	各区保健こども課
3	歯科健康相談	高齢者を対象に、口腔機能向上や口腔ケアについての歯科健康相談を実施	実施回数：50 回 相談者数：372 人	
4	後期高齢者歯科口腔健康診査	後期高齢者の口腔機能の改善を図り、生活習慣病、誤嚥性肺炎等の疾患を予防するため、歯科口腔健康診査を実施 ※受診対象年齢：75 歳以上	受診者数：1,183 人 受診率：1.89%（暫定値）	国保年金課
5	介護予防の啓発	高齢者の通いの場（サロン）等において、オーラルフレイルを含めたフレイル状態の把握及び予防に関する講話を実施	実施回数：45 回 参加者数：延 723 人	
6	短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）	口腔機能向上や改善を目的としたプログラムを実施 ※事業対象者：要支援1又は要支援2の認定を受けている者及び本サービスを利用することにより機能の維持・改善が見込まれる65歳以上の者	実施事業所数：6 事業所 利用者数：33 人 実施回数：81 回	高齢福祉課
7	オーラルフレイル予防研修会	ケアマネジャーや地域包括支援センター職員等を対象に、口腔に関するアセスメント力の向上を目的とした研修会を開催	参加者数：133 人	介護保険課
8	自立支援型地域ケア会議	多職種が協働して支援内容を検討することで、自立に資するケアマネジメントの実践を推進するとともに、必要な社会資源や体制等の地域課題を把握する ※助言者として歯科医師または歯科衛生士が参加	開催回数：172 回 検討事例数：332 件	
9	出前講座	「舌を鍛えて健康長寿～ベロタッチ健康法～」 実施団体：口からの健康づくり歯っぴーかむカム	実施回数：10 回	生涯学習課

《 関係団体・機関 》

	令和5年度 内容	実績	団体
1	【8020表彰】 8020表彰について、会員へ周知徹底し対象者の推薦を行うとともに、員歯科医院において事前審査を実施する。	75 人	熊本市歯科医師会
2	【後期高齢者歯科口腔健康診査事業】 後期高齢者（75歳以上又は65歳以上で一定の障がいがあると認められた者）を対象とした歯科健診	1,183 人	
3	【生活歯援プログラム事業】（再掲） 県歯科医師会と連携し、企業の職域対象に「生活歯援プログラム」において、生活習慣病予防を通じた全身の健康づくりに効果的な歯科保健指導を実施	2 事業所 延べ 47 人	全国健康保険協会熊本支部 熊本県歯科衛生士会

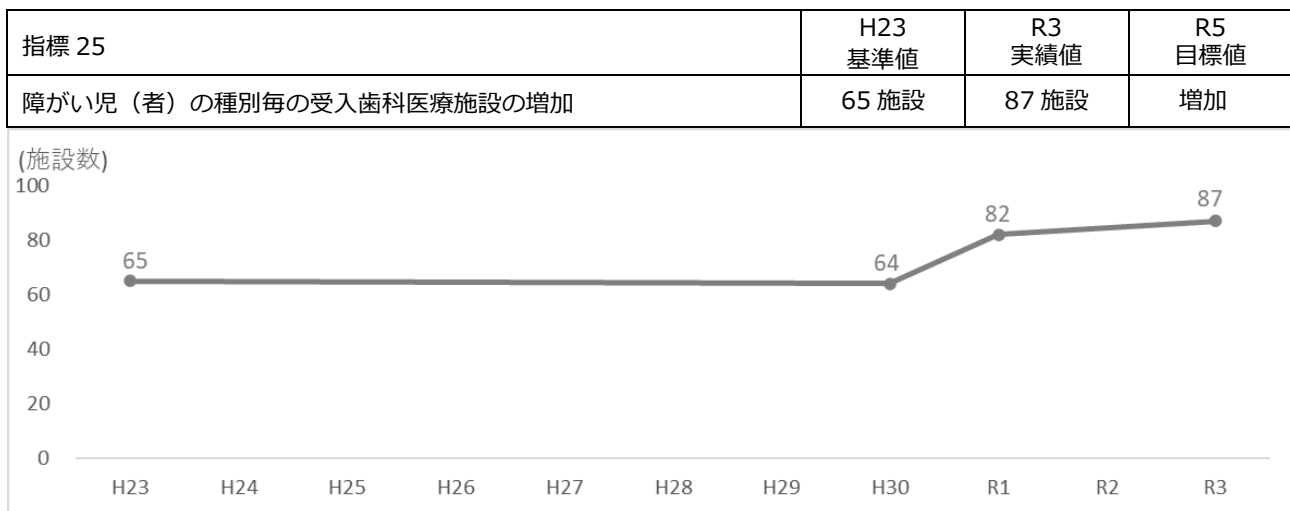
4	【自立支援型地域ケア会議】 専門職として、歯と口腔の健康維持、改善に対して助言を行う。	延べ 72 回	熊本県歯科衛生士会
5	【熊本市ささえあい型 B 事業 出水南地区ふれあい交流会】 テーマ お口と歯の健康 オーラルフレイル予防を目的としたお口の健康講座を実施。 日時令和 5 年 1 2 月 1 9 日（火）	地域住民 20 人	
6	【市民向け講習会】 入れ歯（義歯）について 入れ歯の取り扱い方についての講演会をする。	参加者 20 人	熊本市歯科技工士会
7	【副作用について及び歯科受診推奨】 各保険薬局にて、骨粗鬆薬や降圧剤等の歯、歯肉に対する副作用を注意・喚起し、心配される患者様に対して歯科受診を推奨している。	熊本市の保険薬局	熊本市薬剤師会
8	【短期集中サービス】 栄養改善プログラムにおいて訪問栄養指導	—	熊本県栄養士会
9	【地域ケア会議】 低栄養予防及び改善・誤嚥性肺炎予防に関する食事栄養アドバイス	—	
10	・地域サロンでの歯科検診の必要性の周知 ・健康教室・介護教室にて年間行事に計画し実施	適宜	熊本市地域包括支援センター連絡協議会
11	訪問看護の際に、口腔内ケアを実施し必要に応じて訪問歯科診療等につなげる	—	熊本県看護協会
12	【すこやか食生活改善講習会】 地域住民を集めて、高血圧予防をテーマに、健康増進のためのレシピの普及と調理実習を開催	92 校区で実施 92 回 1,308 人参加	熊本市食生活改善推進員協議会
13	【全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト（第 3 弾）「高齢世代」】 高齢者の地域参加を促し、低栄養やフレイル予防するためランチオンマット等を使用し講話を実施。	R5.9.8 15 人参加 R5.10.20 13 人参加 河内町で実施	
14	【生涯骨太クッキング】 低栄養とフレイル予防のため、運動や社会参加を含めた講話等を行った。	R5.10.24 15 人参加 R5.11.17 12 人参加 北区で実施	
15	【高齢者の健康・食生活の支援活動】 高齢者サロン等と連携し、高齢者を対象にフレイル予防のための食生活や日常生活についてのお話を活動を実施した	2,794 回 8,439 人 (活動集計：高齢者の健康・食生活)	
16	【口腔ケア】 高齢者サロンや老人会における唾液腺マッサージや口の機能を高める口腔体操などを実施	393 回 5,627 人	熊本市 8020 健康づくりの会

「歯と口腔の健康づくりを支え・守るための環境づくり」について

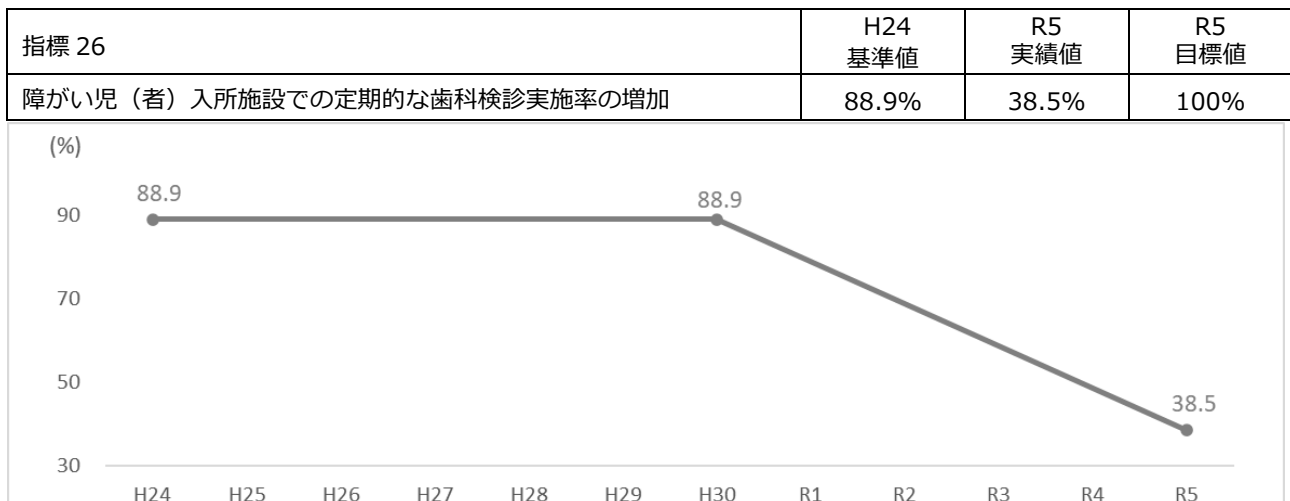
指標 25～27

【現状と課題】

- (1) 指標 26「障がい児（者）入所施設での定期的な歯科検診実施率の増加」は減少しており、今後障がい児者入所施設での歯科健診実施に向けた検討を行う必要がある。
- (2) 指標 27「8020 推進員の育成数(累計)」は目標を達成したものの、8020 推進員のいない校区や少ない校区がある。校区を中心とした地域活動を展開していくためには、各校区に 8020 推進員を配置することが望まれる。
- (3) 災害時は口腔衛生の悪化や栄養不足、疲労などによる免疫力の低下から誤嚥性肺炎や口内炎など、お口のトラブルが起きやすくなる。災害時の備えとして、平時から口腔衛生用品を準備し、日頃から歯やお口のケアを欠かさず、口腔内の環境を整えておくことが必要である。

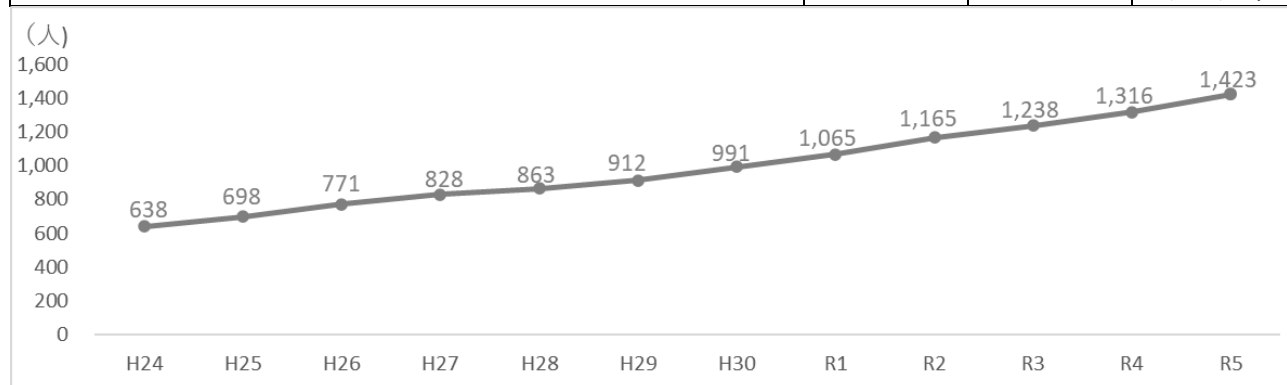


出典：【熊本市】H30 障がい児(者)入所施設アンケート調査、R1～熊本県障がい者支援課調べ



出典：【熊本市】障がい児(者)入所施設アンケート調査

指標 27	H24 基準値	R5 実績値	R5 目標値
8020推進員の育成数の増加（累計）	638 人	1,423 人	1,000 人 (R元年度 達成済み)



出典：【熊本市】8020 推進員育成事業

【令和5年度の進捗】

《 行政 》

※R5年度の組織名は当時の名称で記載しています

	主な取組	令和5度 内容	実績	担当課
1	8020推進員育成事業	8020推進員育成講座を実施し、8020推進員を育成	修了者数：107 人	各区保健こども課 健康づくり推進課
2	8020推進員活動支援	8020推進員に口腔のケアや歯科疾患予防のアドバイス等を行い、地域での歯と口腔の健康づくり啓発活動を支援	支援回数：1,762 回 活動者数：5,809 人	各区保健こども課 健康づくり推進課
3	8020推進員スキルアップ研修会	8020推進員及び8020推進員育成講座受講生を対象に知識及び技能の向上及び推進員同士の連携を図るため、研修会を実施	実施回数：10 回 参加者数：295 人	
4	歯と口の健康週間	毎年6月の「歯と口の健康週間」において、地域住民を対象に歯科保健に関する啓発等を実施	実施回数：96 回 参加者数：4,065 人	
5	熊本市民健康フェスティバル	8020健康づくりの会を中心に市民に歯と口腔の健康づくりに関する啓発を実施	参加者数：175 人	健康づくり推進課
6	熊本県歯科保健状況調査	目的：対象施設の歯科保健状況を把握し施策に反映させるため、県の調査に協力 対象：保育所・幼稚園・認定こども園、市立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校、熊本大学附属幼稚園・小中学校	359 施設	
7	校区単位の健康まちづくりや地域のイベント等での啓発事業	校区単位の健康まちづくりイベントや地域のイベント等において、歯科健康相談等を実施し、歯科保健に関する啓発を実施	実施回数：43 回 実施校区：70 校区 参加者数：6,658 人	各区保健こども課 健康づくり推進課

8	障がい児及び発達に不安のある児のむし歯予防事業（歯っぴー事業）	未就学児のうち身体障害者手帳、療育手帳又は歯の健康ノートを保有するものを対象として、口腔ケア、フッ化物塗布及び口腔衛生指導を実施	実施回数：27回 受診者数：延 81 人	各区保健こども課
		・パンフレットを活用して歯の健康について説明を行い、意識向上を促していく ・相談時、必要に応じて保護者へ情報提供を行う	対応件数：7 件	こども発達支援センター
9	障がい者通所施設での歯科健康教育	障がい者通所施設において、利用者や施設職員に対し口腔のケアの必要性や口腔機能に関する歯科健康教育を実施	実施回数：2回 参加者数：58 人	各区保健こども課
10	児童発達支援サービス事業	児童発達支援サービスを利用者に対する歯科相談を実施（※保育所等でのデイサービス）	実施回数：2回 参加者数：26 人	
11	障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業	障がい児（者）が身近な地域で歯科診療を受けることができるよう、地域の歯科医師及び歯科衛生士の診療の知識等の習得を図る事業を実施	参加者数：80 人	障がい福祉課
12	歯科救急医療対策	休日歯科当番医制度により、いつでも安心して適切な歯科診療を受けることができる救急医療体制づくりを実施	・通常初期救急体制として、休日の準夜間において歯科診療を実施 診療件数：131 件 ・年末年始初期救急体制として、24 時間の歯科診療を実施 診療件数：408 件	医療政策課
13	適切な医療体制の確立	障がい児（者）の歯科診療体制の強化のため、熊本県歯科医師会口腔保健センターが実施する事業に対する県の補助金の一部を負担 ※熊本県歯科医師会口腔保健センターにおいて、週 3 日、障がい児（者）に対する歯科医療を提供	診療日数：160 日 診療件数：3,862 件	
14	災害時の口腔ケアの啓発	災害時の口腔ケアの啓発を、地域のイベントを通して実施	実施回数：30 回 参加者数：1,761 人	各区保健こども課 健康づくり推進課
15	SNS 等を活用した啓発	各ライフステージに応じた歯科保健に関する情報の記事掲載 ※SNS や広報誌、ラジオ、テレビなどにおける広報	実施回数：29 回	各区保健こども課 健康づくり推進課
16	地域歯科保健研修会	関係機関・団体と行政が、歯と口腔の健康に関する現状や課題等について共有し、課題解決に向けた取組について理解を深める機会とするため、研修会を開催 ※「健やかな老いを生きるために ～誤嚥性肺炎予防と口腔へのかかわり～」というテーマで、高齢者にかかわる専門職等を対象に実施	参加者数：167 人	健康づくり推進課
17	市民健口講座	市民に歯科疾患の成り立ち及び予防法等の情報を提供し、自己管理能力の向上と総合的な歯と口腔の健康づくりを進めるため、講座を開催 ※「脱マスク時代に自分のできる口元ケア」というテーマで実施	参加者数：54 人	

《 関係団体・機関 》

	令和5年度 内容	実績	団体
1	歯と口の健康週間事業期間での無料歯科健診	24 件	熊本市歯科医師会
2	歯と口の健康週間における催事「2023 歯の祭典」	約 620 人	
3	【8020推進員への支援】 補助金交付・8020推進員育成講座修了証書交付式での講演	実施	
4	【歯の祭典への参加】 市歯科医師会主催 2023 歯の祭典に歯科衛生士コーナーを出展、地域住民を対象に歯科啓発を実施。 日時 令和5年6月4日(日) 会場 びぶれす広場	地域住民 297 人	熊本県 歯科衛生士会
5	【あさひばオレンジスマイルフェスタに参加】 オレンジスマイルフェスタに歯科コーナーを出展、地域住民を対象に歯科に関する質問など受け、歯科啓発を実施。 日時 令和6年2月24日(土) 会場 桜木東小学校体育館	地域住民 50 人	
6	【笑顔ヘルCキャンペーン参加】 笑顔ヘルCキャンペーンに歯科コーナーを出展、地域住民を対象に歯科に関する質問・相談など受け、歯科啓発を実施。 日時 令和5年11月12日(日) 会場 びぶれす広場	地域住民 20 人	
7	【食の健康まつりに参加】 けんぐん食と健康まつりに歯科コーナーを出展、地域住民を対象に歯科に関する質問・相談など受け、歯科啓発を実施。 日時 令和5年11月18日(土) 会場 ビアクレス健軍商店街	地域住民 75 人	
8	【障がい者(児)口腔地域リーダー育成事業に協力】 市歯科医師会受託事業「障がい者(児)口腔地域リーダー育成事業」で施設入所者に歯科保健指導と口腔ケアを実施。	延べ2回 延べ80人	
9	【マスコミによる啓発】 「熊本シティ FM 健康サロン」に出演、歯・口腔の健康に関する普及啓発を行う。 日時 令和5年6月28日(水)・ホワイトニングについて 令和6年1月2日(水)・県民公開講座について	延べ2回	熊本県栄養士会
10	【ホームページによる情報発信】 熊本県栄養士会情報誌りんどう(毎年1回発行)にて 特集「歯の一生は、栄養にかかっている。」を市民へ情報発信する。 子どものむし歯の現状、乳幼児期の食事のポイントやレシピをホームページ掲載	—	
11	【バッククッキング地域講習会】 災害時における家庭や施設での「食の自给力」向上と、防災知識を次世代へつなぐことを目的に、食料備蓄やバッククッキング等について講話等を実施	11 回 257 人参加	熊本市食生活 改善推進員協 議会
12	【牛乳飲用消費拡大事業】 牛乳消費拡大のための調理実習を東区で開催。	R5.12.1 21 人参加	
13	【熊本城マラソンおもてなし隊】 マラソン参加者に味噌汁等の配付を行った	R6.2.18 5,000 食配付	
14	【市主催事業への協力】 食生活改善推進員の養成講座の中で、受講生に対して活動についての話や交流会に参加し、食のボランティア養成に協力した	5 区役所で実施	

15	【情報の提供】 ・熊本市役所ロビーでの、歯と口の健康づくりに関する情報などの提供 ・下通りアーケード入り口での、市民へ向けての歯と口の健康づくりに関する歯科啓発及び情報提供 ・熊本市民健康フェスティバルでの、歯と口の健康づくりに関する啓発及び情報提供	1 回 1 回 200 人 1 回 184 人	熊本市 8020 健康づくりの会
16	【推進活動】 8 0 2 0 推進員育成講座への支援やスキルアップ研修会などを開催し、地域における 8 0 2 0 運動の推進を図る	33 回	
17	【地域イベント】 地域の祭り等のイベントにおいて歯と口腔の健康づくりに関する歯科啓発及び情報提供	41 回 7,092 人	